

【児童の実態】
 ○元よく明るい挨拶ができる
 ○素直で落ち着いている
 ○指示されたことは最後までやり遂げようとするが、自らすすんで考えたり行動したりすることは少ない

【学校の教育目標】
 人権尊重の精神を基調とし、心身共に健康で知性と想像力に富み、社会連帯意識や国際的視野をもった人間性豊かな児童を育成する。
 ・やさしい子…豊かな心情や情操を養い、思いやりの心を培う
 ・やり抜く子…思考力、想像力、表現力を養い、問題解決能力を育てる
 ・元気な子…健康安全に努め、健全な心身の育成を図る

【保護者の願い】
 ○豊かな人間関係をつくる
 ○基礎的・基本的な知識及び技能の定着
 ○思考力、判断力、表現力の育成
 ○健康で安全な生活

【地域の実態】
 ○学校教育に対する理解があり、協力的である
 ○核家族化や少子高齢化により、互いに助け合う機能が低下している

【総合的な学習の時間の目標】
 探究的な見方・考え方を働かせ、地域に関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。
 (1) 地域に関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、共に暮らしていくことよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
 (2) 地域の中から問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調べて得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
 (3) 自分達の住む地域についての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら自らすすんで地域社会に関わろうとする態度を育てる。

【地域の願い】
 ○自分達の地域を誇りに思う
 ○豊かな人間性を身に付けている
 ○地域と積極的に関わり、行事等にすすんで参加する

【内容】 <目標を実現するにふさわしい探究課題と探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力>

学年	3年(手話講座・聴覚障害者)	4年(視覚障害者福祉協会)	5年(高齢者体験/車椅子体験)	6年(老人保健施設ひまわり)		
テーマ	みんなが幸せに暮らすために					
探究課題	聴覚障害者の生活	視覚障害者の生活	高齢者の思いや願い	福祉施設に従事する人の思いや願い		
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	知識及び技能	聴覚障害者の生活やその方々の思いや願いが分かる。	視覚障害者の生活やその方々の思いや願いが分かる。	高齢者や車椅子生活の人々の生活やその方々の思いや願いが分かる。	福祉に従事する人々の思いや願いが分かる。	
		情報を比較・分類するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。		情報を比較・分類・関連付けるなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。		
	思考力、判断力、表現力	課題の設定	自分の関心から障害をもつ人々についての課題を設定し、解決方法を考えて追究している。	高齢者や福祉施設に従事する人々など、地域の人々の思いをふまえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見直しをもって追究している。		
		情報の収集	目的に応じた対象を決め、自分たちの身近なところから情報を集めている。	目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。		
		整理・分析	問題状況における事実や関係を、事象を比較したり分類したり、数量などで客観的に比較したりして、特徴を見付けている。	視点を明確にして問題状況における事実や関係と、整理した情報を関連付けたり、多面的に考察したりして理解し、多様な情報の中にある特徴を見付けている。		
		まとめ表現	相手に応じてわかりやすくまとめ、表現している。	相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ、表現している。		
	学びに向かう力、人間性等	振り返り	学習したことをふり返り、生活に生かそうとしている。	学習の仕方をふり返り、学習や生活に生かそうとしている。		
		主体性	課題の解決に向け、目的意識をもって意欲的に取り組んでいる。	課題意識をもって、自分なりの方法を工夫しながら探究活動に取り組んでいる。		
		協働性	課題解決に向けて、身近な人と力を合わせて探究活動に取り組んでいる。	課題解決に向けて、他者と協働して探究活動に取り組み、その大切さに気付いている。		
		自己理解	自分のよさや自分にできることに気付いている。	探究活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴を理解しようとしている。		
他者理解	自分と異なる意見や考えがあることに気づき、相手の立場を理解する。	異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しながら、探究活動に取り組んでいる。				
社会参画	自分と地域とのつながりに気づき、地域の活動に参加しようとしている。	探究活動を通して、自分と実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとする。				

【学習活動】
 ・年間1テーマでの取組を基本とする。
 ・地域の実態、児童の実態を踏まえ、探究課題を設定する。
 ・地域の人、もの、ことを生かした学習活動を行う。
 ・学習成果を表現する場を設定する。
 ・単元は学年で開発し、中学年は年間2～3単元、高学年は年間2単元程度とする。

【指導方法】
 ・児童の課題意識を連続、発展させる支援と工夫を行う。
 ・体験活動を重視する。
 ・各教科等との関連を重視した指導を行う。
 ・言語により整理分析したりまとめ表現したりする学習を重視する。
 ・協働的な学習を充実させるため、思考ツールを積極的に活用する。

【指導体制】
 ・全校指導体制を組織する。
 ・運営委員会における校内の連絡調整と指導体制を確立する。
 ・メディアセンターとしての余裕教室及び学校図書館の整備・充実を図る。
 ・地域の教育資源をデータ化すると共に、日常的な関わりを行う。

【学習評価】
 ・観点別学習状況を把握するための評価規準を設定する。
 ・個人内評価を重視する。
 ・指導と評価の一体化を充実する。
 ・授業分析による学習指導の評価を重視する。
 ・期末、学年末には指導計画を評価・改善し、次年度の計画に生かす。

【各教科等との関連】

国語	社会	算数	理科	生活科	音楽
・自分の思いや考えが相手に伝わるように表現する力 ・相手が伝えたい事柄を正確に理解する力 ・言語についての知識や理解、技能	・社会的な事象に関心を持ち、すすんで調べようとする態度 ・統計、資料、年表用を読み取り活用する力 ・観察や調査した事柄を関連付ける力	・数量や図形に興味を持ち、調べたり試したりしながら課題を解決していこうとする力 ・目的に応じて表やグラフを使って表現する力 ・筋道を立てて考える力	・自然事象に関心を持ち、すすんで調べようとする態度 ・科学的に筋道立てて考え、問題を解決する力 ・見直しをもって観察、実験をする力	・身近な人々、社会、自然と関わる力 ・自分自身や自分の生活について新たな気づきをする力 ・生活上必要な習慣や技能	・音楽によって養われる感性や情操 ・感じたことを歌や楽器で表現する力
家庭	図画工作	体育	外国語活動・外国語	特別の教科 道徳	特別活動
・日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能 ・家庭生活をよりよくしようと工夫する力と実践的な態度	・表現や鑑賞の活動や等で養われた感性や情操 ・つくりだす喜び ・形や色、材料などから発想する力 ・材料や用具を用いる力	・健康で安全な生活を営む実践力 ・たくましい心身	・異なる言語や文化を理解する力 ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度	・課題解決に向けて主体的に活動するための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度	・話合いの仕方 ・集団をよりよく指定校とする意欲及び態度 ・自発的、自主的に活動を進める力

【地域との連携】

